



美老名市

山谷 青

スマートフォンによる観光情報提供事業

市の委託事業で行っていたが自主財源が乏しく、市の委託金の依存度が高いため、今年度の方針として会員対象にしたアンケートを実施し、結果平成25年度末(426.3.)に完展的解散のため、市が中心となり新しい形での観光振興(にまわい)に取り組み、平成26年元月にまわい検討委員会20名による会の設立、振興基本構想を策定し平成28年4月1日から施行している。今年度は条例の規定基本として計画元々の元気にまわい振興計画に取り組み、検討委員会において課題として目途する手段、仕組みなどを挙げられ「まわい作り」の方向性として新たなカードツールを活用し行くことと盛り込んだ。スマートフォンをつうじも目指す。観光用だけでなく、防災用の機能と兼ね備えたもので本アンケートを決定し、平成27年5月11日委託契約を締結し画面デザインや登録内容を決定、各種情報の収集等を行っており、10月1日配信開始、その後も随時情報の追加掲載している。近年外国人のため、5カ言語の対応している。今年度については国庫補助金委託費用が990万補助率100%、地域活性化地域住民生活等

緊急支援交付金 地方創生先行型に活用
多しポート数は6月末現在で4.5割ほど
との説明。

総合窓口について

インプットにおきける市長の公約である。
 人口130,000人(1728.4.1)現在2年度当初
 予算643億円、一般会計385億 特別会計
 253億円、職員数 8022人/人対し60名
 支所、出張所あり、市内3駅に連絡所あり17年
 4月に移転新築、総合窓口サービス課 取扱い
 業種、住民票、印の証明、非常勤職員改称
 している 自動交付機 2台 市庁舎内各号は2台
 店では取扱いしては考えない。市民サービス向上
 を図り効率化を目指し総合窓口業務は民間委託
 委託前職員数20名、委託後 8名対応している

市民総合窓口業務	55,300千円	
福祉総合窓口業務	19,000千円	削減あり

塩尻市

ICTネットワークによる情報化と鳥獣害対策

2012、2013年に総務省所管「ICT活用の推進事業」オープンデータを獲った新たなサービス実施から地域産業創出を目指す、世界一のアドホック無線ネットワーク市内全域の特定小電力アンテナの無線中継機640台設置運用は(2006年)

市の構築した情報基盤を獲って子供の見守りや鳥獣対策、気象防災等の地域が抱える分野で活用

に挑戦。大なる成果をあげた(市ICT活用の推進事業)

本市は安心X-1ループが危険通知システムが加わったこれだけかけつけ、依頼、児童の危険通報による保護

者から多く一歩一歩の依頼をすることによって阻み

又鳥獣害で被害を減らすことのできるのでは?

地域全体で参加、出現時に追いついた地域輸出

で実行、お友会もICT活用意義を理解参加

鳥獣の個体数の減らされる。農業全戸で

参加することで被害増大を減らすことのできる

耕作放棄地対策と農産物直売所

塩川地区にある陣崎台地は北アルプスと北に360°を見渡せる台地である。年間降水量は900ミリ以下で干害を受ける地形である。以前は桑園の広がる大地。昭和40年時代には薬用人参に栽培の移り、その後連作障害を受け土壌の低産化と高冷化の加わり耕作放棄地となった。25haの政策農地としてラヴィーニの設立あり、果樹開発公社を通じて農地を借受り耕作を開始した。農地の活用期間は20年とし10年を過ぎた時点で借地料を見直しを行う。今日は毎年支払とることだったが10年分集めて一括で支払を済ませた(年10,000)4/4。ふじの栽培目標に3年以内46haの地域づくり総合支援事業による農地の造成やふじの垣根資材、苗木と補助を受けた今後の展望としては安定的収量80t以上を目指す。上野市に新たな魅力や経済的効果の期待を込めて努力する。直売所は4/6、5/20、(1/猿、6/7)300万で土地の購入費(含む)名前は町内の公募(あまの)と名義となる。市より指定管理の指定を受けた組合の通じる組合員200名 委託会員60名 出資2万 団体は3万、年内費3000- 営業日は元旦~4/7(休)み 及び無休の通じる店長は10名、職員は10名、臨時職員3名 計13名で社入、社員が行う

生産者の入るバーコードで管理されたデータ
は午前11時から夕方6時の販売状況を確認でき
昨年の実績も表示 249.0372 販売高2億2千700
万であった。今後の課題としては品揃と品物多し
取りとろえる。今後期待できるの説明あり'

NHK大河ドラマ「真田丸」活用は観光事業
上田城千本松まつり、信州上田夏まつり、上田真田まつり
上田城ゆき並木紅葉まつり、実行委員会が立ち上げ
誘客への推進を図っている。又広域連携真田街道
として沿線市町村による構成でこの国共計13自治体
又北陸新幹線停車駅都市観光有効活用は広域
観光振興、交流人口拡大等の活性化に向け共同研究
や情報交換を行っている。観光客受け入れ体制整備
市民力の積極的な活用ポータルサイトやNHK大河ドラマ
「真田丸」放送への対応として訪るか循環バス本来市民足
として走っているが今は各名称観光案内を行っている
日ヶの館以来、旧市長会館を正用して展示や放映
放送、NHKの提供後PRをしている。又おみやげ品
可行等出し販売の上での対応は見て来た。

以上